

令和元年9月 全国百貨店売上高概況

令和元年10月23日

I. 概況

1. 売上高総額	5, 153億円余
2. 前年同月比	23.1% (店舗数調整後/2か月連続プラス)
3. 調査対象百貨店	78社 212店 (令和元年8月対比-3店)
4. 総店舗面積	5,349,738㎡ (前年同月比:-2.7%)
5. 総従業員数	65,335人 (前年同月比:-4.4%)
6. 3か月移動平均値 (店舗数調整後)	2-4月 -0.2%、3-5月 -0.6%、4-6月 -0.9%、 5-7月 -1.6%、6-8月 -0.7%、7-9月 6.8%

[参考] 平成30年9月の売上高増減率は-3.0% (店舗数調整後)

【特徴】

9月の売上高は、消費税率引上げを目前にした最終局面で駆け込み需要が盛り上がり、23.1%増(2か月連続)と高い伸びを示した。また、前年の自然災害(台風・地震)による休業・営業短縮等の反動増や各店で実施した改装効果も相まって、美術・宝飾・貴金属・高級時計、ラグジュアリーブランドなど高額商材を中心に業績を押し上げた。当月も台風の影響や土曜1日減などマイナス要素はあったが、駆け込み需要の強さがカバーする構図で活況に推移した。

顧客別では、国内市場(シェア95.1%)が24.4%増(2か月連続)と二桁の伸びを見せた。インバウンド(シェア4.9%)も2.7%増(253億円)と2か月ぶりにプラス転換している。

地区別では、都市(10都市/24.5%増)・地方(10都市以外の地区/19.9%増)共に2か月連続増で、対前年30%増を超えた神戸、札幌、大阪をはじめ、全都市・全地区で二桁増となった。

商品別でも、主要5品目全てで前年を超える結果となった。特に、高額品(美術・宝飾・貴金属/102.9%増)と化粧品(34.1%増)を含む雑貨(51.2%増/8か月連続)と、身のまわり品(32.6%増/2か月連続)、さらに家具(46.3%増)、家電(82.8%増)を含む家庭用品(30.7%増/2か月連続)は、前回の消費増税前の実績(2014年3月/総売上高伸び率:25.4%増、雑貨:67.2%増、身のまわり品:38.6%増、家庭用品:39.1%増)に次ぐ高い伸びとなった。主力の衣料品(19.2%増/2か月連続)は、コート等の重衣料や呉服などに動きが見られ、約2割増となった。

食料品(1.5%増/5か月ぶり)は、生鮮食品(2.3%減)が依然苦戦しているが、軽減税率の適用外となるワインなど酒類や食品催事が好調で、トータルでは前年実績を確保した。

【要因】

(1) 天候 : 気象庁発表「9月の天候」の特徴は以下のとおり(一部抜粋)

◇気温は北・東・西日本でかなり高く、日照時間は北日本と東日本日本海側でかなり多かった。降水量は北日本太平洋側と東日本日本海側でかなり少なかった。また、複数の台風の影響により、各地で大荒れとなった。

(2) 営業日数増減 29.9日(前年同月比 +0.6日)

(3) 土・日・祝日の合計 11日(" -1日/土曜1日減)

(4) 入店客数増減(回答店舗数で見る傾向値/前年同月比/有効回答数124店舗)

①増加した:60店、②変化なし:37店、③減少した:27店

(5) 9月歳時記(敬老の日、彼岸)の売上(同上/有効回答数86店舗)

①増加した:12店、②変化なし:52店、③減少した:22店

全国百貨店 売上高速報 2019年9月

第1表 地区別売上高

※店舗数調整後 ()が調整前

地区	売上高(千円)	構成比(%)	対前年増減(-)率 (%) ※
全国	515,316,066	100.0	23.1 (22.8)
10都市	371,501,224	72.1	24.5
札幌	14,141,401	2.7	32.5
仙台	6,666,968	1.3	23.1
東京	143,428,939	27.8	20.7
横浜	31,262,060	6.1	20.4
名古屋	35,512,997	6.9	29.8
京都	21,471,595	4.2	26.6
大阪	77,338,482	15.0	32.0
神戸	13,120,421	2.5	32.9
広島	10,344,128	2.0	14.2
福岡	18,214,233	3.5	15.9
10都市以外の地区	143,814,842	27.9	19.9 (18.6)
北海道	1,156,369	0.2	14.3 (-15.0)
東北	6,711,482	1.3	14.8
関東	66,063,459	12.8	21.3
中部	10,884,736	2.1	16.1
近畿	18,158,410	3.5	18.6
中国	11,323,990	2.2	19.4
四国	8,115,605	1.6	26.8
九州	21,400,791	4.2	18.3 (12.4)

第2表 商品別売上高

商品別	売上高(千円)	構成比(%)	対前年増減(-)率 (%) ※
総 額	515,316,066	100.0	23.1 (22.8)
紳士服・洋品	28,220,247	5.5	14.0 (13.5)
婦人服・洋品	99,738,059	19.4	18.7 (18.2)
子供服・洋品	9,537,884	1.9	9.4 (9.2)
その他衣料品	12,740,104	2.5	48.7 (48.6)
衣 料 品	150,236,294	29.2	19.2 (18.7)
身のまわり品	76,774,128	14.9	32.6 (32.2)
化粧品	60,318,352	11.7	34.1 (33.8)
美術・宝飾・貴金属	56,618,226	11.0	102.9 (102.8)
その他雑貨	17,191,090	3.3	8.4 (8.3)
雑 貨	134,127,668	26.0	51.2 (50.9)
家具	6,904,995	1.3	46.3 (46.1)
家電	1,261,839	0.2	82.8 (82.7)
その他家庭用品	14,169,353	2.7	21.3 (19.3)
家 庭 用 品	22,336,187	4.3	30.7 (29.2)
生鮮食品	20,486,184	4.0	-2.3 (-2.8)
菓子	27,115,149	5.3	2.6 (2.4)
惣菜	26,159,063	5.1	1.6 (1.3)
その他食料品	32,079,074	6.2	3.0 (2.8)
食 料 品	105,839,470	20.5	1.5 (1.2)
食堂 喫茶	11,999,046	2.3	4.8 (4.6)
サービス	5,242,359	1.0	18.8 (18.7)
その他	8,760,914	1.7	3.7 (3.4)
商 品 券	7,126,953	1.4	-1.8 (-2.0)

注) 構成比は計算処理上必ずしも100%にはなりません。商品券は総額に含まれません。また、商品券の構成比は、総額に対する比率です。本統計には消費税は含まれておりません。

Ⅱ. 地区別の動き

1. 10都市売上動向	24.5% (店舗数調整後/2か月連続プラス)
2. 10都市以外の地区売上動向	19.9% (店舗数調整後/2か月連続プラス)

【地区別売上前年比の寄与度とトレンド】

地区	売上前年比	寄与度	トレンド
10都市	24.5	17.5	2か月連続プラス
札幌	32.5	0.8	4か月ぶりプラス
仙台	23.1	0.3	2か月連続プラス
東京	20.7	5.9	2か月連続プラス
横浜	20.4	1.3	2か月連続プラス
名古屋	29.8	1.9	2か月連続プラス
京都	26.6	1.1	2か月連続プラス
大阪	32.0	4.5	8か月連続プラス
神戸	32.9	0.8	11か月ぶりプラス
広島	14.2	0.3	2か月ぶりプラス
福岡	15.9	0.6	3か月ぶりプラス
10都市以外の地区	19.9	5.7	2か月連続プラス
北海道	14.3	0.0	2か月連続プラス*
東北	14.8	0.2	2か月連続プラス*
関東	21.3	2.8	2か月連続プラス
中部	16.1	0.4	2か月連続プラス
近畿	18.6	0.7	3か月ぶりプラス
中国	19.4	0.4	18か月ぶりプラス*
四国	26.8	0.4	2か月連続プラス
九州	18.3	0.8	7か月ぶりプラス*

(注) 北海道、東北、中国、九州については、2006年1月からそれぞれ札幌、仙台、広島、福岡を10都市に移行した。(2005年までは6大都市)

Ⅲ. 商品別の動き

主要5品目は、雑貨が8か月連続、衣料品、身のまわり品、家庭用品が2か月連続、食料品が5か月ぶりのプラスと、全品目がプラスとなった。その他の品目は化粧品が54か月連続、美術・宝飾・貴金属、菓子が8か月連続、家電が4か月連続、家具が3か月連続、紳士服・洋品、婦人服・洋品、その他衣料品が2か月連続、惣菜が3か月ぶり、その他食料品が6か月ぶり、その他雑貨が9か月ぶり、子供服・洋品が15か月ぶり、その他家庭用品が42か月ぶり、生鮮食品を除く各品目がプラスとなった。

【商品別売上前年比の寄与度とトレンド】

商品別	売上前年比	寄与度	トレンド
総額	23.1	—	2か月連続プラス
紳士服・洋品	14.0	0.8	2か月連続プラス
婦人服・洋品	18.7	3.8	2か月連続プラス
子供服・洋品	9.4	0.2	15か月ぶりプラス
その他衣料品	48.7	1.0	2か月連続プラス
衣料品	19.2	5.8	2か月連続プラス
身のまわり品	32.6	4.5	2か月連続プラス
化粧品	34.1	3.7	54か月連続プラス*
美術・宝飾・貴金属	102.9	6.9	8か月連続プラス*
その他雑貨	8.4	0.3	9か月ぶりプラス*
雑貨	51.2	10.8	8か月連続プラス
家具	46.3	0.5	3か月連続プラス
家電	82.8	0.1	4か月連続プラス
その他家庭用品	21.3	0.6	42か月ぶりプラス
家庭用品	30.7	1.3	2か月連続プラス
生鮮食品	-2.3	-0.1	11か月連続マイナス*
菓子	2.6	0.2	8か月連続プラス*
惣菜	1.6	0.1	3か月ぶりプラス*
その他食料品	3.0	0.2	6か月ぶりプラス*
食料品	1.5	0.4	5か月ぶりプラス
食堂喫茶	4.8	0.1	29か月ぶりプラス
サービス	18.8	0.2	2か月連続プラス
その他	3.7	0.1	6か月ぶりプラス
商品券	-1.8	-0.0	103か月連続マイナス

(注) 化粧品、美術・宝飾・貴金属、その他雑貨、生鮮食品、菓子、惣菜、その他食料品については2006年1月から細分化した。

お問い合わせは、日本百貨店協会 森・橘・長柴 まで
 TEL 03-3272-1666 ホームページアドレス <http://www.depart.or.jp>